

保育実習（竜王中学校）

「わぁー」。竜王中学校の3年生が用意したゲームコーナーを見て、須恵保育園の園児が歓声を上げました。輪投げや魚釣り、玉入れ、もぐらたたきなど、いずれも手作りのものばかりです。生徒は、園児の目線に合わせてしゃがみ、笑顔で迎えていました。そして、園児に「上手」「惜しい」「こうしてみたら」などの声掛けをすると、喜んで何度も挑戦していました。生徒からは「いろいろな子がいて、それぞれに対応することはむずかしかったけど楽しかった」「喜んでくれてよかった。かわいい」などの感想が聞かれました。



ほんものの科学体験講座（厚狭小学校）

厚狭小学校の科学工作クラブの4・5・6年生19名が、山口東京理科大学薬学部の教員と学生から、簡単な薬のつくり方を学びました。あらかじめ用意された液剤を混ぜてその特性や通電性を調べたり、ぬり薬に色のついた液剤を混ぜて新たなぬり薬をつくったりしました。子どもたちははじめ不安な手つきで実験していましたが、そのうちに夢中になって「なぞがとけたような気がする」「科学ってすごい」などの感想をもらしていました。講師の「新しいことに挑戦することが大切」という言葉にもうなずいていました。



いもほり（埴生幼稚園）

秋晴れの下、埴生幼稚園児14名が5月に苗を植えたサツマイモを収穫しました。つるを引っ張ってもなかなか抜けません。サツマイモの姿が現れても土が硬くて深くは掘れません。中にはダンゴムシを見つけて、それに無中になってしまう子どももいます。それでも、子どもたちは先生から励まされてたくさんのサツマイモを手にしたときは、苦労したことを忘れたような満足した笑顔を見せました。並べたサツマイモを見て、みそ汁やスイートポテトにして食べたいとうれしそうに話していました。園では今後焼き芋にする予定です。

